

# 1546人 八幡の街を駆け抜ける



スタートするランナーたち

「2013八幡市民マラソン大会」が12月1日、八幡市民スポーツ公園を発着点に開催され、市内外から集まった1546人のランナーが八幡の街を駆け抜けました。

## 12月1日 市民マラソン大会

親子ペアで優勝した松原徹郎さんと岳生さん



同大会は、市体育協会を中心とした八幡市民マラソン大会実行委員会が主催。距離や年齢、性別ごとに15種目が設けられ、ランナーたちは優勝や完走を目指して走りまわった。

親子ペア部門では133組が参加し、3歳から小学2年生までの子どもたちが保護者と一緒にごっこコースを走りました。1位争いでは、2組による最後の直線勝負。手を

つなぎながらの全力疾走は、僅差での決着となりました。優勝した松原徹郎さん(7)と父親の岳生さん(39)は「親子ペアで出場できる最後の年だったので、優勝できて良かった。一緒に走れて気持ち良かった」と、充実した表情を浮かべていました。

## みんなで一緒にお茶の作法

第三幼稚園児 松花堂庭園茶室「松隠」で



抹茶をいたたく園児たち

12月3日、八幡第三幼稚園の5歳児25人が、松花堂庭園の茶室「松隠」でお茶会を体験しました。

同園は、園児たちに日本の伝統文化に触れてもらおうと市文化協会茶道部会の協力を得て毎年、松花堂庭園でお茶会を開いています。

はじめに、同会の会員たちが、園児たちにお茶の作法を説明した後、あんこを栗の形に整えたお茶菓子と抹茶をふるまいました。

正座をした園児はお茶菓子が運ばれてくると、膝の

前に両手をついてお辞儀をし、手のひらに懐紙と一緒に抹茶菓子に乗せて、和菓子用の楊枝で小さく切り分けていただけていました。

続いて抹茶が運ばれてくると、お茶菓子のときと同様にお辞儀をし、茶碗を手にとって時計回りに2回まわしてから、口に運んでいました。

初めて抹茶を飲む園児もたくさんいましたが、みんな「めっちゃおいしい」と大満足。楽しみながら日本の伝統文化に触れていました。

## まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

## ペッタン おもちつき

八幡幼稚園

12月11日、八幡幼稚園の3歳児から5歳児までの88人が、おもちつきを行いました。同園では、正月を前にしたこの時期に、毎年、おもちつきを行っており、市シルバー人材センターの会員たちの力を借りて、一足早い正月気分を味わっています。

園児たちは、順番に大きな杵を持ち、ペッタン、ペッタンとおもちつき。見守る園児たちも元気な声で「よいしょ、よいしょ」の掛け声や、杵の重さに負けずと振り上げる姿に応援を送っていました。



おもちつきをする園児たち

## 赤青黄色 上手に絵付け

12月4日、橋本幼稚園の4歳児34人が、お皿の絵付けに挑戦しました。

同園では、毎年この時期に地域の陶芸の先生を招いて陶芸教室を開いており、4歳児は絵付けを、5歳児は粘土でお皿を作る体験をしています。

この日は、陶芸の先生が用意されたお皿に、4歳児が赤、青、黄など9色の絵の具を使って絵付けを行いました。

園児たちは、9つのテーブルに1色

ずつ置かれた絵の具を使うために、行ったり来たり。好きな色を使って、猫やハートなどの自分の好きな絵を、楽しそうにお皿に描いていました。絵付けが終わると、園児たちは「先生、見て見て」と、色とりどりの絵の具が上手にちりばめられたお皿を、うれしそうに見せていました。お皿は陶芸の先生が後日焼き上げ、進級のお祝いとして3月に園児たちへ贈られます。



お皿に絵付けをする園児たち